令和3年度 防災対策事業報告

1 令和3年12月1、2日の強風・停電被害対応

1日夕方から十勝管内南部を中心に南西の風が強まり、帯広空港で最大瞬間風速 25.7m/s (2008 年からの統計期間で第一位)を観測。倒木等により1日夕方より停電が発生し、帯広市内は農村部を中心に最大約2,150戸が影響を受けた。北海道電力が1日午後7時25分に非常災害対策本部を設置。帯広市は午後8時に災害対策本部を設置し、帯広の森体育館を避難所として開設。2日には川西中学校、大正農業者トレーニングセンターを避難所として開設し、2日間で計2人が利用。倒木被害73件、建物被害21件、農業施設(牛舎、倉庫、ビニールハウス等)被害668件、転倒等による人的被害3件

2 令和4年1月11、12日の大雪被害対応

十勝管内で高速道路 2 路線、国道 4 路線、道道 1 路線が通行止めとなり公共交通機関の運休も相次いだ。ビニールハウス 18 件 (22 棟)、農業倉庫 1 件が被害を受けた。11 日正午からの 24 時間降雪量は帯広市街地 59 cm、帯広空港 57 cm。

1 災害に強い都市基盤整備

- (1) 耐震改修促進計画
 - O 特定建築物の耐震化率 (令和2年度末)
 - 87.4% (内訳:総数669棟 耐震585棟 非耐震84棟)
 - へ 木造住宅への耐震化支援無料耐震簡易診断、耐震診断補助金、耐震改修補助金、旧耐震住宅建替え補助金

(2) 災害対応に配慮した道路整備・修繕

○ 幹線道路等の整備・修繕 都市計画道路の整備、橋梁・道路ストックの修繕

(3) 上下水道の災害対策

- O 上下水道インフラの整備 雨水管整備、汚水桝やマンホール蓋の地下水浸入対策
- 上下水道備蓄資器材の充実稲田浄水場の浸水対策用水嚢の整備

2 防災意識の普及啓発

(1) 防災セミナーin とかち2021 (令和3年7月29日 (木))

場所:とかちプラザ レインボーホール

主催: 带広市町内会連合会、帯広市

参加:86名

内容:講義「感染症流行下における災害への備え」

講師:防災士 村田 真弓 氏

(2) 地域防災訓練(令和3年8月29日(日))

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

場 所:帯広市立翔陽中学校

主 催:東部地区連合町内会、中央東連合町内会、帯広市

参加予定機関:北海道開発局帯広開発建設部、陸上自衛隊第5旅団第4普通科連隊、帯広測候所、

帯広警察署、とかち広域消防局、とかち防災マスターネットワーク

訓 練 科 目:住民避難訓練(情報伝達、避難誘導)、避難所開設・運営訓練、関係機関等防災

展示

(3) 防災リーダー研修会(令和3年12月2日(木))

場所;とかちプラザ 視聴覚室

主催: 带広市町内会連合会、帯広市

内容:講義「防災士の立場から考える、地域の防災活動とリーダーについて」

講師:帯広ライフサポート協会 代表 佐藤 悦 弘氏 ほか

(4) 防災グッズ展(令和4年1月24日(月)~ 28日(金))

場所:市役所1階市民ホール

見学:390名

展示内容:非常持出品、非常食料、冬の防災用品、家屋転倒防止器具、感染症対策、市備蓄品

の展示 ほか

(5) 冬季防災訓練(令和4年2月5日(土))

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

場 所:緑丘小学校 主 催:帯広市

協力(予定): 带広管工事業協同組合、帯広空調衛生工事業協会、(一社) 帯広建設業協会、

十勝建築災害対策協議会、帯広建築工業協同組合、北海道LPガス協会十勝支部、 帯広塗装工業協同組合、北海道コカ・コーラボトリング(株)帯広事業所、

(株) 伊藤園帯広支店、サントリービバレッジサービス(株) 帯広支店、

(公社) 隊友会帯広東支部・西支部、(公社) 隊友会道東連合会女性部、

とかち防災マスターネットワーク、(株) マテック、とかち広域消防局、帯広市 消防団、釧路トヨタ自動車帯広店(株)、帯広トヨペット株式会社、トヨタカロー ラ帯広株式会社、十勝三菱自動車販売株式会社、帯広日産自動車株式会社、帯広三 菱自動車販売株式会社、(株) ズコーシャ、帯広市親子防災講座実行委員会(順不同)

訓練科目:給水訓練、救助救出訓練、応急手当訓練、停電対策訓練、防災グッズ展示、親子

防災教室、避難所設営訓練、避難所体験

3 防災体制の充実

(1) 災害用備蓄資器材等の購入・更新

[定期的な更新・購入]

- 災害備蓄食(アルファ米)の購入(2,800食)
- 災害備蓄食(サバイバルフーズ)の購入(2,340食)
- 液体ミルクの購入・更新 (384缶 48人×0.5日分×2回分)
- 粉ミルク (アレルギー疾患対応) の更新 (24 缶 5 4 人× 2.5 日分)
- 生理用ナプキン(172人×1日分)※新規
- 紙おむつ(155人×1日分)※新規
- アルミマットの購入(1,120枚)
- 毛布の購入(1,200枚)
- 糞尿凝固薬品の購入(5,600回分)
- 簡易トイレの購入(13個)
- トイレットペーパーの購入(96ロール)
- 丼容器の購入(3,200個)
- 箸の購入(6,500膳)
- 使い捨てカイロの購入(1,920枚)

(2) 備蓄倉庫の整備

帯広市の災害備蓄品の集中保管する拠点備蓄倉庫を建設。同時に各指定避難所に感染症対策資機材及び避難所開設時と運営初期に必要な資機材を配備する指定避難所備蓄品収納物置を設置。

【拠点備蓄倉庫】

所 在 地 帯広市西17条南6丁目6-52

(陸上自衛隊帯広駐屯地官舎北側)

完成年月日 令和4年3月1日(予定)

規 模 1,080 m² (備蓄倉庫部分)

【指定避難所備蓄品収納物置】

所 在 地 帯広市の指定避難所 49 施設

※施設内に収容スペースがある施設には設置していない

設置年月日 令和3年11月末までに全基設置し、備蓄品を収納

(3) 災害時の広報・通信体制の充実

【帯広市地域防災無線の概要】

統制局(統制台:総務部危機対策課)、簡易中継局(広野小学校)、

半固定無線局83局、車載無線局26局、携帯無線局11局 合計123局

- し 地域防災無線の維持管理(保守点検実施)
- O Jアラート配信訓練(地震想定、全国一斉訓練)

日時:令和3年5月19日(水)

対象:市内全小中学校、南商業高校

※ほか、国民保護事案を想定したものとして令和3年11月5日(金)に実施

〇 地域防災無線通信連絡訓練

日時:令和3年12月14日(火)~17日(金)

対象:地域防災無線を設置する全施設

の 防災協定に基づく避難所施設等のWiーFi環境整備(7ヵ所追加、全15箇所)

〇 緊急情報一斉伝達システムの導入

運用開始:令和2年5月1日

登録者数:電話・ファクス 143件(令和4年2月現在)

メール 1183件(同)※うち、441件は市職員の緊急連絡用

O SNS を活用した情報発信(令和4年2月現在)

带広市公式 LINE 登録者数 約23,000人

帯広市公式 Facebook フォロワー数 約6,000人

帯広市公式 Twitter フォロワー数 約4,700人

Yahoo!防災速報 約41,500人

※Yahoo! JAPAN アプリで帯広市を地域設定している利用ユーザー数

(4) 自主防災組織の育成等

〇 自主防災組織の結成・育成を推進

連合町内会ベースでは33対象組織中、現在26組織が結成 単位町内会では328組織が結成

〇 防災活動助成事業

自主防災組織等が実施する防災研修会や訓練等に対して費用を助成

	助成団体数	助成額	
連合町内会	2団体	[[[]]] O O O []	
単位町内会	25団体	上限15,000円	
合 計	27団体	404, 938円	

〇 防災講師派遣事業

(令和4年3月末見込み)

自主防災組織等が実施する防災研修会や訓練等に対して講師を派遣

実施団体: 4団体、 参加人数: 123人

〇 職員による防災出前講座の実施

(令和4年3月末見込み)

実施団体:14団体、 参加人数:494人

親子防災講座の実施

(令和4年3月末見込み)

実施回数:50回、参加人数:3,795人

(5) 災害時要援護者対策

〇 災害時要援護者の登録状況

(令和3年12月末時点)

1,799名が登録、うち347名が個別計画を作成 (作成率19.3%)

〇 個別計画作成協議会の設置状況

(令和3年12月末時点)

11連合町内会(むつみ、大空地区、やまと、西帯広、西帯広ニュータウン、大正、広陵、柏林台、稲田地区、新柏林台、緑ヶ丘の各連合町内会)、14単位町内会の合計25の地区で設置

(6) 市職員訓練

〇 避難所開設訓練の実施

対象者:帯広市職員84人会場:ソネビル6階講習会室

[基礎訓練]

日程:令和3年6月22日(火)、23日(水)両日の午前・午後(各3時間)

内容:避難所運営ゲーム「Do はぐ」を通じた避難所運営の模擬訓練、避難所で使用する感染

症感染症対策用品の展示を実施

(7) 防災協定の締結

	- 1 113 A 100 C - 1 1 1 1 E				
締結日	相 手 方	協 定 名			
R3.2.19	北海道エアポート株式会社帯広空港事	帯広空港消火救難隊に関する協定			
	業所				
R3.10.12	廃棄物処理業者 23 社	地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等の			
		協力に関する協定			

4 その他

(1) 土砂災害警戒区域等の指定(令和4年2月4日)

○ 土砂災害から生命と身体を守るために、基礎調査により土砂災害が発生する恐れがある区域を明らかにし、北海道が「土砂災害警戒区域」及び「土砂災害特別警戒区域」を指定。

字	区域名	種別	警戒	特別 警戒
岩内町	帯広岩内1	急傾斜	\circ	0
岩内町	帯広岩内 2	急傾斜	0	0
川西町	帯広川西	急傾斜	0	0
岩内町	帯広西岩戸	急傾斜	\circ	0
拓成町	帯広拓成	急傾斜	0	0
岩内町	西岩戸の沢川	土石流	\circ	
岩内町	第一岩内橋の沢川	土石流	0	
拓成町	川西発電所の沢川	土石流	0	